

2007.11.16 発行

市保連ニュース

<http://hoiku.ram.ne.jp/shihoren/> (非公式サイト)

武蔵野市の保育園に子どもを通わせている父母で構成される、武蔵野市保育園父母会連合会（通称：市保連）では、定期的にニュースをお届けしています。

～吉祥寺保育園で散歩中の事故が発生

再発防止に向けた、申し入れ書を提出しました。

10/16（火）吉祥寺保育園にて、3名の保育士（2名正職員、1名アルバイト）が、2歳児クラス15名を引率して公園へ散歩に行った際に、帰途途中の公園に2名の児童を残して帰園してしまったという事故が発生しました。

10/22（月）邑上市長名で、公立全園の全保護者向けにお詫びの文章が配布され、それを受け翌日市保連役員から武蔵野市子ども家庭部長・保育課長に聞き取りの申し入れを行い、10/25（木）に、市保連役員と武蔵野市子ども家庭部長・保育課長と懇談を行ないました。

その懇談にて、事故経過等を聞き取り、以下の内容に関して「早急な対応」と「継続的な対応」の申し入れを口頭にて行いました。

- ①事故そのものの原因究明と、対策を構築すること。
- ②情報提供の遅さに関しての原因究明と対策、意識改革が必要であること

また、10/26（金）に文章にて「緊急の申し入れ」を行ない、11/8（木）に市保連役員より、武蔵野市長へ「申し入れ書（裏面）」提出しました。

子どもたちが無事帰園したことが本当に何よりもでした。

しかし、置き去りにされたショックは本人以外には判りませんし、保護者の方や同じクラスの皆さん、吉祥寺保育園の皆さんのご心痛は想像がつきません。

公立各園でも事故を受けた緊急対策を立て文書説明がなされましたが、対策の充実にはより多くの眼で確認することが重要です。皆さんの積極的な関わりをお願い致しますとともに、この間のご報告が遅くなりましたことをお詫び申し上げます。

なお、申し入れ書（写し）事故時系列表などは定例会担当の方が持ち帰っておりますので、ご覧になりたい方は声をかけてください。

平成 19 年 11 月 8 日

武蔵野市長 邑上守正殿

武蔵野市保育園父母会連合会会長 北島 博史

児童置き去り事故 再発防止に関する申し入れ書（抜粋）

1. 保護者からの意見聴取について

- 当事者である吉祥寺保育園保護者からの意見を参考とすること
- 各保育園保護者からの意見を参考とすること
- 上記2点は期限を区切ることなく、様々な事故防止の一環として取り組むこと。

2. 再発防止に向けて

①緊急対策について

- 10月17日に執り行われました、公立園長会での確認通り、周辺散歩における各園の緊急対策の徹底を図り、適宜再点検を図り必要な修正を行い、その際は保護者に周知すること。
- 周辺散歩に限らず、屋外・屋内カリキュラムにおける安全確保のためのマニュアル・取り決めを再点検し、必要な修正を図ること。

②恒久対策について

- 担任3名中、正規2名・アルバイト1名（4月採用・2園掛け持ち）という体制が適正であったのかを含め、原因究明の更なる掘り下げを図ること。
- 周辺散歩に限らず、普段の保育における現場職員の不安等、事故につながりかねない事例を収集し、必要な措置を行うこと。
- 都内主幹者会議において、他区市町村の事故事例ならびに対策を情報収集し恒久対策に活かすとともに、武蔵野の事例を周知し、他区市町村に活かされること。
- 恒久対策構築に活かすため、今回の事故に対する抗議や意見・不安等、保育課・各園・各職員を問わず記録を残し活用するとともに、保護者に開示すること。
- 恒久対策構築の際は、保護者に周知すること。

3. 今後の事故情報の開示について

- 事故情報については、当該者ならびに当該クラス・当該保育園保護者には迅速に周知するとともに、その方法は文書説明・個別説明・全体説明を基本とすること。
- 事故情報の開示遅滞が起きないよう、事故が起きた際の保育園内部での報告システムの再点検と対策を講じるとともに、情報公開を第一とする意識改革を行い、その対策を保護者に周知すること。